

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表：令和3年3月30日

事業所名 療育サポートセンター クレア

保護者等数（児童数）26名 回収数 20名 割合 76.9%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	4	2		・もう少し広さは欲しい。 ・狭い	・クラスルームの広さは限りがあるため、粗大エリア等も活用している。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	20				・困っていることや幼稚園での出来事を話すと返事がすぐに返ってくる。	・今後も迅速に対応していく。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	15	3	1	1	・実際の様子を見るのがあまりなかった。 ・歩けない子を対象にしていないと思うので仕方がないが段差が多いのと介助するには狭い。トイレが2階だというのも今後不便。 ・トイレが2階にしかない。 ・エリア毎に目的が違って構造化されている。	・療育の様子等希望を確認しながら、見学対応もしていきたい。 ・歩行が困難な児童のために、1階にポータブルトイレを設置し、トイレトレーニングの進捗を確認しながら、個別対応を行っている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	17	3				
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	20				・細かく書いていただきありがとうございます。要望も取り入れて、計画書を作り直してもらっています。	・今後も、本人ニーズと保護者ニーズを確認しながら、個別支援計画に盛り込んでいきたい。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	18	1		1		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20					
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	19	1				
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	4	2	7	・認定こども園とクリアの療育を併用しています。	・希望に応じて、こども園や関係機関と情報共有や訪問等を継続していく。

10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20				・きちんと説明されて、金額も提示されました。	・見学時と契約時に今後も丁寧に説明していく。
11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	20				・面接して支援計画を説明していただきました。	

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	8	2	1	9	・参加できていません。 ・家庭訪問は希望すれば日程を合わせてして頂きました。ペアレントトレーニングは他で受けています。	・ペアレントトレーニングは実施していないが、他機関で実施されている保護者とは情報共有していく。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	18	2			・気になる点は直接帰りなどに話してもらってます。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	1		1		
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	7	3	6	・今年はコロナのため開催がなかった。育休中に参加しなかったので残念です。 ・年長児保護者で集まる機会はありました。	・感染症対策を実施し、可能な範囲内で保護者会等を企画していく。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	20				・活動の様子を細かく知らせて頂きわかりやすいです。 ・結果も含め伝えてもらってます。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	3				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	15	2		3		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	19			1		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	14	2		4	・説明はあったが訓練には参加したことはないと思う。 ・本人から、今日避難訓練したと教えてください、実施してどうだったかスタッフが教えてくださいます。	・避難訓練実施の際には、必ず連絡帳へ記載する。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	2		2	・今日避難訓練で、神社に行くと教えてくださいます。	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	19			1		
	23	事業所の支援に満足しているか	19	1			・通うたびにぐんぐん成長しているように感じています。	・本人ニーズに沿った療育を提供しながら、楽しみや満足感がもてる小集団活動等取り入れていく。

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。